

東京社保協ニュース

ホームページ <http://www.tokyo-syahokyo.net/> N0204号 2010年7月1日 発行

今月の記事

1頁 消費税10%ごめんです、朝日訴訟50年シンポ
 2頁 参議院選挙各党の政策
 3頁 地域社保協総会開く
 4頁 地域集会・ちょうちんデモ、首都圏アスベスト

東京社会保障推進協議会(東京社保協)
 〒170-0005 豊島区南大塚2丁目33番10号
 東京労働会館6階
 TEL 03-5395-3165 FAX 03-3946-6823

消費税10%

社会保障充実のため？
 本当は法人税減税の穴埋め

消費税導入後も社会保障は悪くなるばかり

		導入前 (1988年)	現在
医療	サラリーマン 本人窓口負担	1割	3割
	高齢者 (70歳以上) 窓口負担	外来・月800円 入院・1日400円	1割 「現役並み」 所得は3割
	国保料 (一人あたり)	56,374円	90,614円
年金	国民年金 保険料	月7,700円	月15,100円
	厚生年金 支給開始年齢	60歳	65歳
福祉	特養ホーム 待機者	2万人	42万人

菅首相は「高齢者ばかりで、法人税引き下げの穴埋めに使われてきたのが現実です。」

今、世界は庶民減税と大企業・富裕層の増税が流れです。7月11日は参議院選挙の投票日。くらしも経済も壊す庶民増税にきっぱりノーの審判を！

「くらしと経済をこわす政治ごめんです」

生活保護費の老齢加算復活を求める裁判で、6月14日、福岡高裁は「本件保護基準の改定は『正当な理由』のない不利益変更であるから違法」とする原告勝訴の逆転判決

福岡高裁が勝利判決

を言い渡しました。全国8か所で闘われている裁判で初の勝利判決となります。しかし、北九州市は国と協議し、最高裁に上告しました。最高裁での勝利をめざして引き続き奮闘していきます。

「憲法は絵に描いた餅であってはならない。憲法ウムでした。」

弁護士は「国の基準の肌着2年で1着、パンツ年に1枚などでは健康で文化的な生活はできないと感じた。浅沼裁判長の『憲法は絵に描いた餅であってはならない。憲法ウムでした。』

憲法25条は人間に値する生活を国が保障するもの

6月5日「語り継ごう朝日訴訟50周年そしていま生存権裁判」シンポジウムを開き、全国の支援する会や学生など194人が参加しました。第一審判決を起案した元・裁判官の小中信幸は「国の基準の肌着2年で1着、パンツ年に1枚などでは健康で文化的な生活はできないと感じた。浅沼裁判長の『憲法は絵に描いた餅であってはならない。憲法ウムでした。』

「朝日訴訟」一審判決から50年

シンポジウムを開催

25条は人間に値する生活を国が保障するものだ」という言葉を胸に留めて判決文を起案した」と当時を振り返り「朝日訴訟が生存権の道しるべとして取り上げられるということは今日においても生存権が保障されていないこと、国や関係機関、裁判官などには憲法の理念をよく理解してもらいたい」と話し、50年間手元に残していた起案原稿を「朝日訴訟の会」に贈りました。運動を大きく広げる上での教訓が、たくさん詰まったシンポジウムでした。

参議院選挙

いのち、暮らしを守る願い託す一票を

7月11日投票で参議院選挙が公示されました。東京社保協では主

な政党のマニフェストから社会保障分野の政策をまとめました。み

なさん自身の目で願いを託せる政党を選択してください。

期日前投票は簡単にできます
投票は2回、1回目が選挙区選挙、2回目が比例です

政党名	年金問題	後期高齢者医療制度	介護	障害者施策	医師・看護師問題
民主党	◎年金制度の一元化 ◎月額7万円の最低保障年金を実施するためにも、税制の抜本的改革を実施	◎2013年度から新しい高齢者医療制度をスタート	◎ヘルパーなどの給与引き上げ◎介護人材確保◎在宅医療、訪問看護、在宅介護、在宅リハビリテーションなど環境整備と家族支援	◎「障害者自立支援法」を廃止した上で、応能負担を基本とする包括的な障がい者福祉の法律を制定	◎地域の医師不足解消に、医師1.5倍増を目標に、医学部学生を増やす◎看護師など医療従事者の増員
自民党	◎年金受給資格要件期間25年から10年に ◎1961年までさかのぼって年金未納期間の保険料を納められる制度を3年限定で実施◎社会保障番号・カードの導入◎年金制度を議論する超党派の協議機関設	◎高齢者医療制度の対象年齢は65歳以上			◎勤務医の処遇改善◎診療報酬の大幅な引き上げ
公明党	◎低所得者の基礎年金25%上乗せする加算年金制度創設		◎特別養護老人ホームの倍増などを盛った「新・介護公明ビジョン」の実現		
共産党	◎年金受給要件を25年から10年にただちに引き下げ◎最低保障年金制度の創設で無年金の解消、低年金の底上げ	◎後期高齢者医療制度をすみやかに廃止し、いったん老人保健制度に戻す	◎経済的負担の軽減で介護を受けられない人をなくす◎「介護とりあげ」をやめさせ、利用制限の仕組みを撤廃◎介護保険への国庫負担を増やし、介護施設整備、介護労働者の労働条件改善	◎障害者の福祉・医療を無料化◎障害者自立支援法をきっぱり廃止して障害者総合福祉法を制定	◎医師・看護師を計画的に増員
社民党	◎全額税財源による「基礎的暮らし年金」で単身月8万円を保障◎所得比例部分の財源は保険料	◎後期高齢者医療制度は廃止し、いったん老人保健制度に戻す	◎特養ホーム、介護施設、介護療養型医療施設などの2倍増で待機者をゼロに		
国民新党	◎年金制度の一元化と基礎年金の税方式化				◎大学医学部定員の20%増員と学士入学制度の創設
みんなの党	◎年金積立金の運用は民営化				

各地で社保協総会

荒川 学習力に、区への国保アンケート実施 映画「いのちの山河」上映も決める



総会で学び早速宣伝行動スタート

4月23日、総会を開催しました。篠崎次男さんの

「後期高齢者医療制度」の講演もあり、雨の中各団体の奮闘で80人の参加で成功させました。

各団体からは、「今後社保協に期待すること」「社保協の一員としての決意」「昨年度3回行った『なんでも相談会』への確信」が力強く語られました。

総会後の2か月間も様々な動きが広がっています。篠崎さんの「後期医療制度は目的も理念も間違った

制度であることを住民に広く訴えよう」という提起も受け、6月16日には町屋駅頭で30人が「後期医療制度の即時廃止を求める宣伝行動」を行いました。途中雨が降り、実質45分間の宣伝でしたが100筆を超える署名が寄せられています。国保問題では東京社保学校での学習を力に、区への「国保アンケート」にも取り組んでいます。

今後、区と懇談をして問題点、区への提案を明らかにして学習と運動を広げていきます。国保改善運動と並行して、12月10日にはサンパール荒川

で2千人を目標に映画「いのちの山河」の上映を成功させようと準備が始まっています。区民から「荒川区に社保協がないと困るね」といわれるような社保協をめざします。

練馬 「いのちの山河」3千人上 映確信に活動広げる

第10回総会は、5月20日、10団体19人の参加で開催。冒頭、国保の情勢を中心に学習、練馬区の、短期証・資格証の発行割合が23区の平均と比較して高いこと、国は、医療保険について将来的に国民負担増・営利市場化をめざしているなど、憲法25条を無視した

墨東病院 消費増税反対、 生活守れなど毎月の宣伝活動に展開

5月30日第14回総会を12団体14人の参加で開催。この1年間で、「後期高齢者医療制度廃止、医療保険一元化阻止」を中心に進め、毎月、消費税をなくす江戸川の会と一緒に街頭宣伝(平均33人)を取り組んできました。4月23日は



区内10駅頭で235人が参加し9500枚のチラシを配付しました。墨東病院の直営で存

続させる取り組みも墨東病院前、錦糸町、新小岩駅頭など計14回の宣伝も行ない、「いのちの山河」は2200人が参加しました。

今年度は、後期高齢者医療制度廃止、医療保険一元化阻止、年金問題、自治体対策をしっかりと取り組んでいこうと全体で確認しあいました。この総会を機に新しい加盟があり16団体となりました。

調布 対市交渉実施 憲法守れの宣言も

6月16日、第16回総会を開催、各団体から27人が参加し、前年度の活動の総括が行われました。東京社保協寺川事務局次長が現政権における社会保障の情勢を述べあいさつしました。

15年の歴史をもつ調布社保協は、毎年対市交渉が大きな

中野 共同の重要性学習し 対区運動の方針掲げる

運動の中心となっており、2009年度も課題別に3日間行われました。昨年12月からは、憲法25条にちなみ、毎月25日に調布駅頭で宣伝行動を始めました。テーマは毎回異なりますが、新しく作った旗のもと各団体が駅前に集結し、様々な宣伝・署名行動を行っています。最後に新年度の運動方針を確認し、閉会となりました。

6月12日、第18回総会を開催。総会は、後期高齢者健診の受診票全員送付、ヒブワクチン接種助成などの成果を確認するとともに、中野区に後期高齢者健診の無料化、国保料の値下げ、子宮頸がんワクチンへの助成などを要望することを決議し、また、映画「いのちの山河」の11月16日上映成功を呼びかけました。ワンストップの会の井上久氏の講演「『派遣村』と社会的共同の可能性」で「地域からの共同で構造路線と自己責任論と正面から闘おう」と呼びかけました。

増税反対 国保守れ 仕事守れ

全都ごちみうちんデモ開催

6月23日現在31地域で開催。東京土建機関紙「けんせつ」より3地域を紹介します。

中野は300人参加で開催

【腰塚智彦記】 国民の怒りと、社会保障改悪や消費税増税に反対して不況打開をもとめる声を集め、ともに立ち上がるろうと、6月9日に中野区民集會が行われました。

東京土建中野支部など区内の団体が参加する実行委員会が主催。会場の杉山公園には300人が集まりました。



夕方6時半に開會、東京土建中野支部の宮崎委員長をはじめ、参加する区内の各団体の代表が次々にあいさつに立ち、国保制度解体につながる医療保険一元化や後期高齢者医療制度の廃止先送り、アメリカいいなりの普天間基地問題などに対して、怒りの声をあげました。

集會参加者はその後、中野駅北口広場まで「消費税増税反対!」「不況を打開し仕事をよこせ!」などシュプレヒコールしながらデモ行進しました。

文京は150人 わらび座も参加

【吉川豊記】6月16日、後楽園駅そばの礪川公園で、区民要求を掲げた地域集會を開催しました。文京支部からは61人、全体で150人が参加しました。

集會は、わらび座の歌と踊りがオーブニングをかざり、各団体のリレートーク、都立



病院PFIの問題、消費税の増税反対の取り組み、医師看護師不足の現状、NPT会議参加報告など切実な要求が出されました。最後は全員で決議文を採択し、デモ行進に出発しました。

万灯、提灯を掲げ、おそろいのハンテンを着て湯島駅までの約2キロを力強く行進しました。日頃の行いのせいかな候も何とか持ちこたえ、さわやかな夜風に迎えられるながらデモ終了となりました。

東村山は「変化をキヤンズに」意気高く

【佐藤哲也通信員】6月7日に東村山市民センターにて「変化をキヤンズに! 国民本位の政治を! 6・7東村山市民集會」を開催しました。東



京土建をはじめ、地域の市民団体や市民

が参加し、東村山支部からは54人、総勢で180人を超える参加者が集いました。集會は各団体から、一言ずつあいさつを頂き、その後すぐにデモ行進に移りました。デモ行進では、光る腕輪を参加者全員が付け、「消費税増税反対」「医療保険一元化反対」などのシュプレヒコールを元気よくしながら、夜の街を彩りました。

首都圏建設アスベスト訴訟

国とアスベスト含有建材企業44社を提訴した「首都圏建設アスベスト訴訟」(東京地裁172人、横浜地裁40人)は提訴して2年が経過。

4月23日には、雨の降る中厚生労働省交渉、支援集會の後、集団提訴(2次訴訟)しました。原告団は「危険性を知らずに一生懸命働いた結果、石綿肺になり苦しんでいる。亡くなった夫の無念を晴らしたい。国はアスベ

スベスト被害にあやまれ つぐなえ

- 当面の主な日程
- 7月11日(日) 参議院選挙投票日
 - 7月22日(木) 第8回常任幹事会
午後1時半～ 障害者自立支援法学習会
午後2時～ 労働会館地下会議室
 - 8月7日(土) 長妻大臣と語る「新たな高齢者医療制度のあり方」意見交換会
※申込み締切り7月20日、抽選ですが応募し、廃止を求めて発言をしましょう。
(申込書東京社保協事務局にあります)

ト被害の医療体制の確立や被害者を出さない対策を取って欲しい」と訴えました。200万人アスベスト署名は、6月23日現在で124万筆超、署名の紹介議員は71人に到達しました。提訴後すでに28人の原告が亡くなるなど、命あるうちに公正な判決と救済策の実施が求められています。そのためにも200万署名の早期達成をめざします。 ※6月の常幹で社保協として署名への協力を確認しました。東京土建より署名用紙が送られますので、ご協力をお願いします。